

岐阜県職員倫理憲章 健康福祉政策課実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり健康福祉政策課実行計画を定めます。

令和7年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 勤務時間内外を問わず、当然遵守すべき法令はもとより、様々な社会的規範に従うとともに、自らの行動が人の手本となる生活を目指します。
- 「岐阜県職員倫理規程」を職員に徹底し、職務遂行の公正さに対する県民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、公務に対する信頼を確保します。
- 全ての事案に対して常に公平・公正に対応するとともに関連法規等に照らして審査し、公正な県政の運営につなげます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 所管する事業について、当該事業の目的、手段及び費用対効果を十分検討し、その都度事業計画の見直しを行い、効率的・効果的な予算の執行に努め、経費縮減に努めます。
- 両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用量の減少、事務用品等の再利用により経費節減を徹底します。
- 組織のマネジメントを強化し、職員に時間管理の重要性を徹底するとともに、職員間における仕事量の均一化や事務の効率化の促進等により、時間外勤務の縮減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 公務員としての資質向上のため、業務の推進に耐えられる知識・技能の修得に不断の努力を惜しみません。
- 健康を所管する課として、自らの健康維持増進に努めます。
- 所管の現場の状況や動向を常に把握するため、情報収集を積極的に行い、収集した情報を職員全員で回覧して情報共有を図ります。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 事故や不祥事を未然に防止するよう常に心がけ、それでもなお発生した場合には県民の安全と安心を最優先してその事態に対応します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には「県民の安全を守る」意識とともに「県民に安心を与える」意識を持って対応します。
- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により迅速に全職員への情報伝達を完了し情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 処理に相当な日数を必要とする場合は、上司に随時進捗状況報告や相談をします。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 各自の立場にこだわらず、いべきことは発言し、なすべきことは実行し、かつその提言・意見を受け入れ、行動を評価できる職場での人間関係を築きます。
- 係長会議や係内の打ち合わせなどの実施を通じて、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由かつ達な議論を行います。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 上司から指示を受けた事項については、速やかに処理し状況を必ず報告します。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 自治会、子供会、消防団など地域活動に積極的に参加し地域社会に貢献します。
- 高齢者、障害者及び子どもたちのおかれた環境をよく理解し、身の回りで、今何ができるかを考え、自分でできることは直ちに実行します。
- 事務事業の見直しによる仕事量の削減、内部事務の効率化による業務改革や時間管理意識の徹底などにより、恒常化している時間外勤務を縮減するとともに、年次休暇等の取得日数を増加させ地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- 身近な環境問題に目を向け、買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわないよう心がけます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組めます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 県のホームページやマスコミなどあらゆる広報媒体を活用し、施策や事業の取り組み情報を県民の皆様に適時・的確に提供します。
- 「現場主義」と「対話重視」を基本に、県民の皆様の意見・提言をお聴きし、次年度以降の政策立案・予算編成等につなげていきます。